

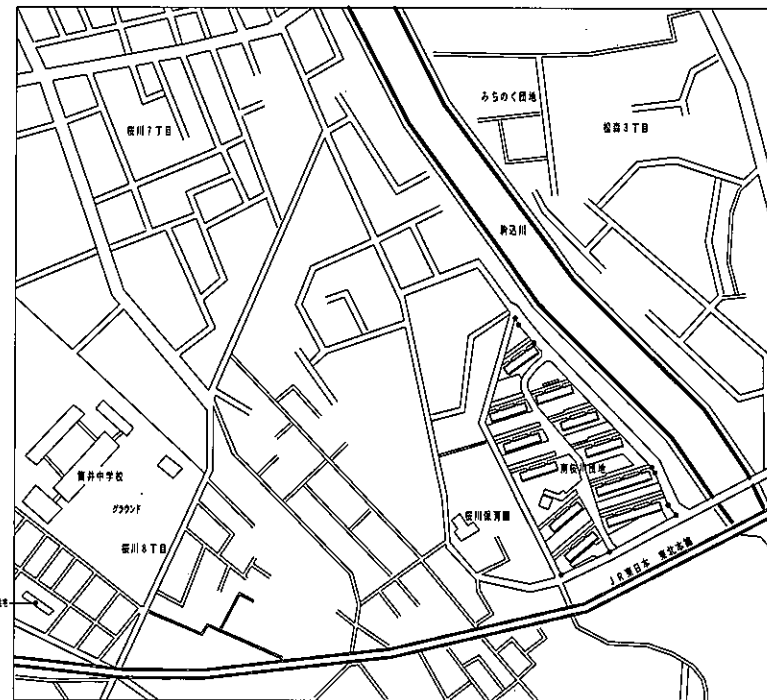
県営住宅(南桜川団地)9号棟屋根外壁等改修工事

設 計 図

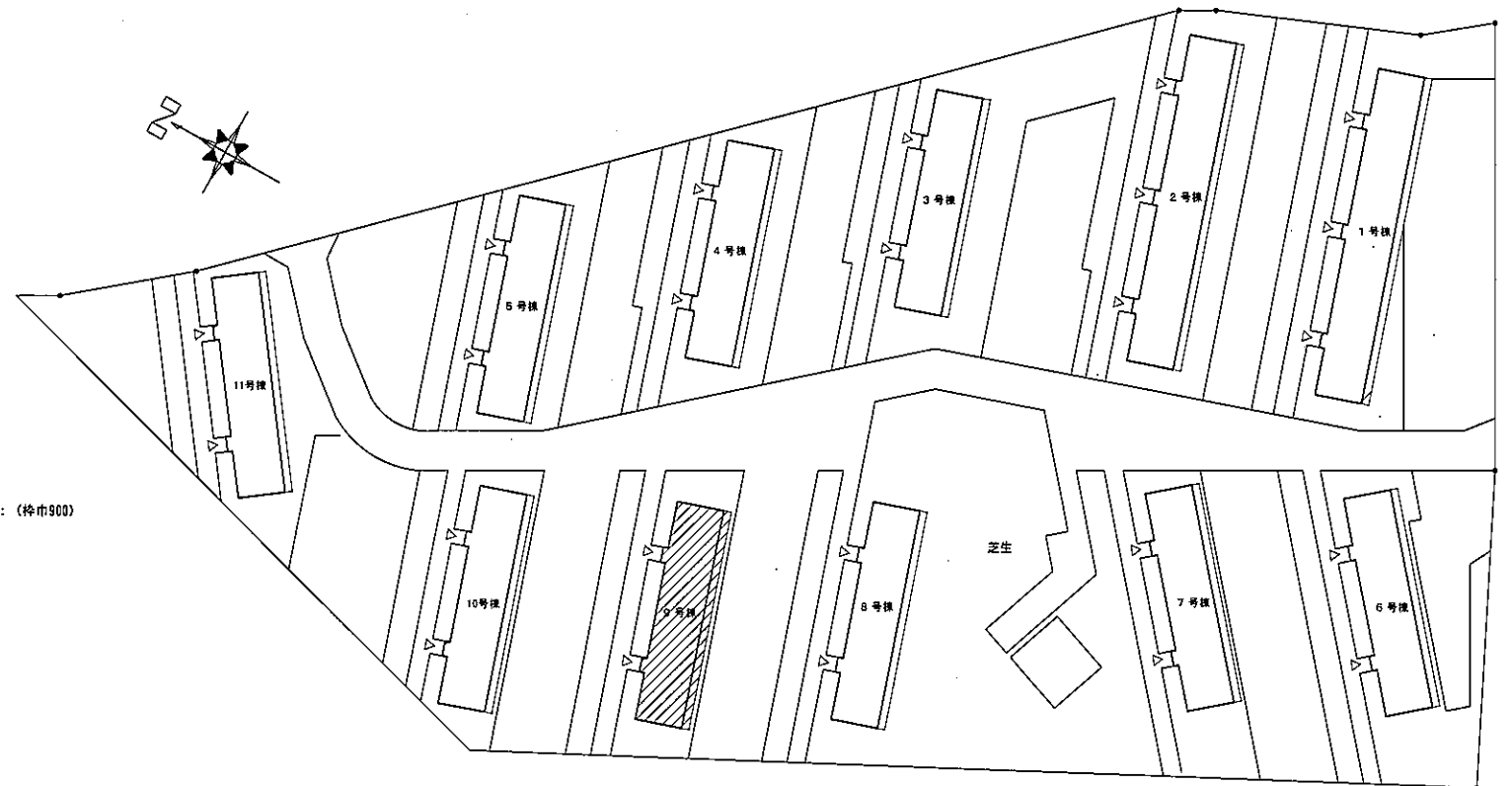
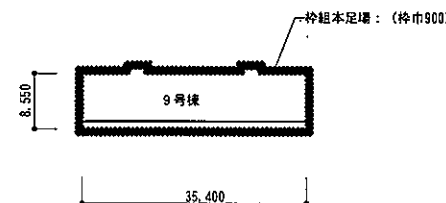
図 面 リ ス ト			
A-0	表紙・図面リスト	A-10	(改修前) 立 面 図
A-1	建築工事特記仕様書 -1	A-11	(改修後) 立 面 図
A-2	建築工事特記仕様書 -2	A-12	(改修前、改修後) 矩 計 図
A-3	建築工事特記仕様書 -3	A-13	雑 詳 細 図 -1
A-4	建築工事特記仕様書 -4	A-14	雑 詳 細 図 -2
A-5	案内図、配置図、仕上表		
A-6	(改修前) 1階～3階 平面図		
A-7	(改修後) 1階～3階 平面図	E-1	電気設備立面図
A-8	(改修前) 4階平面図、屋根伏図		
A-9	(改修後) 4階平面図、屋根伏図		

設 計 :  KATOH ARCHITECTS & ENGINEERS 株式会社 カトー建築設計事務所

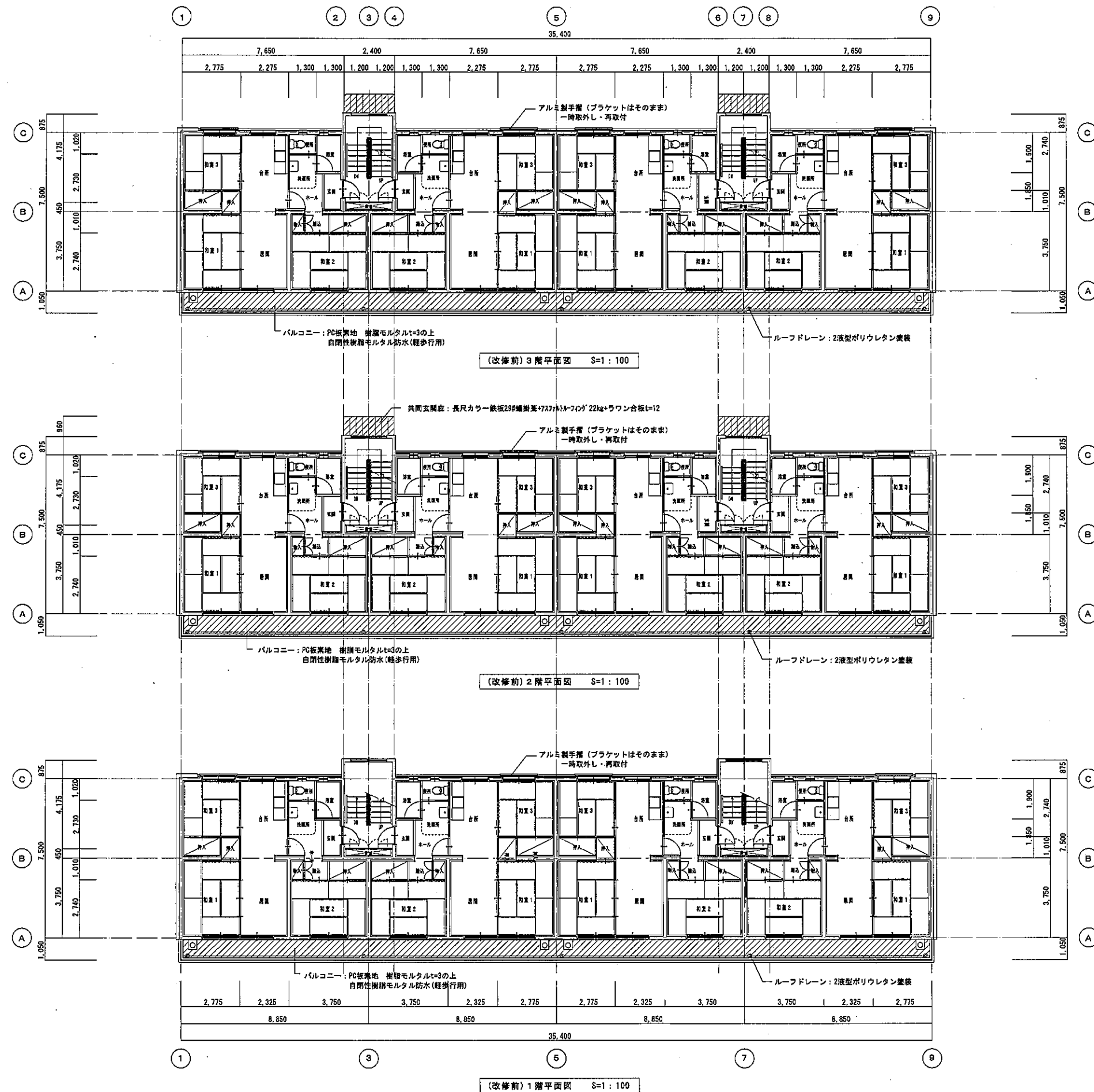
外部仕上表			外壁改修		
	改 修 前	改 修 後			
屋 根【葺替え】	鉄骨トラス葺 屋根：ガルバリウム鋼板0.4mm+アスファルトルーフィング 940	既存 3'6" 9'3"鋼板（着色）0.4mm+平立葺及び727/614-7/2"葺 撤去の上、3'6" 9'3"鋼板0.4mm（材料保証25年）727/614-7/2" 940 新設	1. 既存塗膜除去 1) サンダー工法（脆弱部分撤去、剥離は残す）		
屋根【塗装改修】	鉄骨トラス葺 屋根：ガルバリウム鋼板0.4mm+アスファルトルーフィング 940	既存 3'6" 9'3"鋼板（着色）0.4mm+平立葺の上、下地調整8mmの上耐候性塗料（D P） アクリルシリコン樹脂系塗料 （剥離し・破損も撤去）	4. コンクリート欠損部（鉄筋露出無し） 【樹脂モルタル充填工法】 1) 補修範囲の確認（はつり及びケレン） 2) 高圧水洗工法（10～15MPa） 3) 防錆剤入りアルカリ付促進剤 4) 樹脂モルタル充填・成形		
軒 裏	P C板 防水形外装薄塗材E吹付け	サンダー工法後 下地調整（はつり及び）の上防水形外装薄塗材E吹付 目地：既存撤去後新設（促成剤付）	5. コンクリート打放し仕上げ外壁補修 1) 既存塗膜除去（高圧水洗工法30MPa） 2) 劣化部補修 3) 防錆剤入りアルカリ付促進剤 4) 防水・エフロ抑制：ケイ酸ナトリウム系コンクリート改質材 5) 下地調整（C-2）の上、防水形外装薄塗材E吹付け		
鼻隠し・破風	3'6" 9'3"鋼板0.4mm包	既存3'6" 9'3"鋼板（着色）0.4mm包の撤去の上、ガルバリウム鋼板0.4mm（25年保証）包 新設	6. セメント中空押出成形板 t=20 改修 1) 既存塗膜除去 2) 高圧水洗工法（10～15MPa） 4) 下地調整（アクリル系シーラー：透湿性）の上、防水形外装薄塗材E吹付け（透湿性）		
小屋裏換気口	樹脂製200×350	下地調整の上、耐候性塗料（D P）727/614-7/2"樹脂系塗料	※ モルタル浮き部については、モルタル撤去後、樹脂モルタル塗りとする。		
煙 突、灰出口	P C、 灰出口ドア：ステール製O、P	サンダー工法後 下地調整（はつり及び）の上、防水形外装薄塗材E吹付 目地：既存撤去後新設（促成剤付） 灰出口ドア：新設主（鉄骨）後、鋼止塗装（A種K5674-1種）の上、耐候性塗料（D P）727/614-7/2"樹脂系、一部枠・扉撤去後、新設（250×230） 脚金：既存のまま、立上り：既存 3'6" 9'3"鋼板（着色）0.4mm及び727/614-7/2" 撤去の上、3'6" 9'3"鋼板0.4mm（材料保証25年）727/614-7/2" 940 新設			
煙突降圧、立上り	ステンレス製降圧 t=2.0（折曲加工）	降圧：既存のまま、立上り：既存 3'6" 9'3"鋼板（着色）0.4mm及び727/614-7/2" 撤去の上、3'6" 9'3"鋼板0.4mm（材料保証25年）727/614-7/2" 940 新設			
屋上ハッチ、立上り	ステンレス製折曲型屋上マンホール（ガスバー式）	屋上ハッチ：既存のまま、立上り：既存 3'6" 9'3"鋼板（着色）0.4mm及び727/614-7/2" 撤去の上、3'6" 9'3"鋼板0.4mm（材料保証25年）727/614-7/2" 940 新設			
共同玄関庇	長尺カラー鉄板29# 建替葺+アスファルトルーフィング 22kg+ラワン合板12mm	既存カラー鉄板及び727/614-7/2" 撤去の上、3'6" 9'3"鋼板0.4mm（材料保証25年）727/614-7/2" 940 新設（鼻隠し・破風共）			
外 壁（梁型）	南面：防水形外装薄塗材E吹付	南面（R C梁）：サンダー工法後 下地調整（はつり及び）の上、防水形外装薄塗材E吹付 目地：既存撤去後新設（P C面は北面仕様に倣う）			
	北面：外断熱パネル（耐アルカリ繊維織入強化セメント板 t=9+押出法ポリスチレンフォーム保温板 防水形外装薄塗材E吹付（P C面共）	北面（外断熱パネル）：サンダー工法後、外断熱パネル 下地調整（耐727/614-7/2"）の上、防水形外装薄塗材E吹付（P C面）：サンダー工法後、下地調整（はつり及び）の上、防水形外装薄塗材E吹付 目地：既存撤去後新設			
	東・西（セメント中空押出成形板面）：防水形外装薄塗材E吹付（透湿性）	東・西（セメント中空押出成形板面）：サンダー工法後 下地調整（727/614-7/2"）（透湿性）の上、防水形外装薄塗材E吹付（透湿性）（水切撤去後、水切（727/614-7/2" t=2.0 W=15通気口付）新設）目地：既存撤去後新設			
梁 上 端	上端：水切 ステンレス t=2.0 加工 w=125 新設 水切下：現場発泡ウレタン	既存のまま			
開 口 部		サッシ廻り既存シーリング撤去後新設			
ガラリ・スリーブ	ステンレス製150φ・100φ	既存のまま			
換気フード	樹脂製	既存のまま 北面 和室換気フード（樹脂製）撤去後、新設（SUS製）			
窓・手 摺	アルミ製 H950×W2000、H950×W1800	取り外し後、再取付			
根 廻 り	合板型枠コンクリート打放し補修の上、防水形外装薄塗材E吹付	サンダー工法後 下地調整（はつり及び）の上、防水形外装薄塗材E吹付			
床下換気口	土田式オープンタイプ O-F型 H215×W420（外側寸法）	ステンレス製自動開閉式床下換気口458×238 新設（既存換気口は残したままとする）			
バルコニー	P C版築地 樹脂モルタル t=3の上、自閉性樹脂モルタル防水（全面メッシュ入、軽歩行用）	サンダー工法後 下地調整（全面樹脂モルタル金ゴテ仕上げ）の上、ポリマーセメント系塗料防水			
バルコニー下スラブ	P C版築地 防水形外装薄塗材E吹付	サンダー工法後 下地調整（はつり及び）の上、防水形外装薄塗材E吹付 目地：既存撤去後新設（促成剤付）			
バルコニー笠木	アルミ製	既存のまま			
バルコニー手摺	アルミ製	既存のまま			
隔 壁	バルコニー手摺+ユニット、フレキシブルボード t=3 V、P（遮断用ステッカー貼）	既存のまま、一部R C片持ち梁クラック補修（撤去後撤去無し） 取外し・再取付 一部R C片持ち梁補修部分（撤去後撤去無し）のみ撤去後、新設（ケイカル板 t=5、遮断用ステッカー貼）			
ルーフトレン	鋼鉄製75φ（P C版打込）、2液型ポリウレタン塗装	鋼鉄（C種）後、鋼止塗装（A種K5674-1種）の上、耐候性塗料（D P）アクリルシリコン樹脂系塗料			
要 隠	硬質塩化ビニール管（V P）φ75	下地調整の上、耐候性塗料（D P）727/614-7/2"樹脂系塗料			
物干し金物	アルミ製	既存のまま			
排気管通気パイプ	スチール製100φ	既存のまま			
果マーク・検査号	750×750 トップコート吹付	750×750 トップコート吹付			
電気設備設置	スチール製の上、O P塗装	既存撤去後、新設			

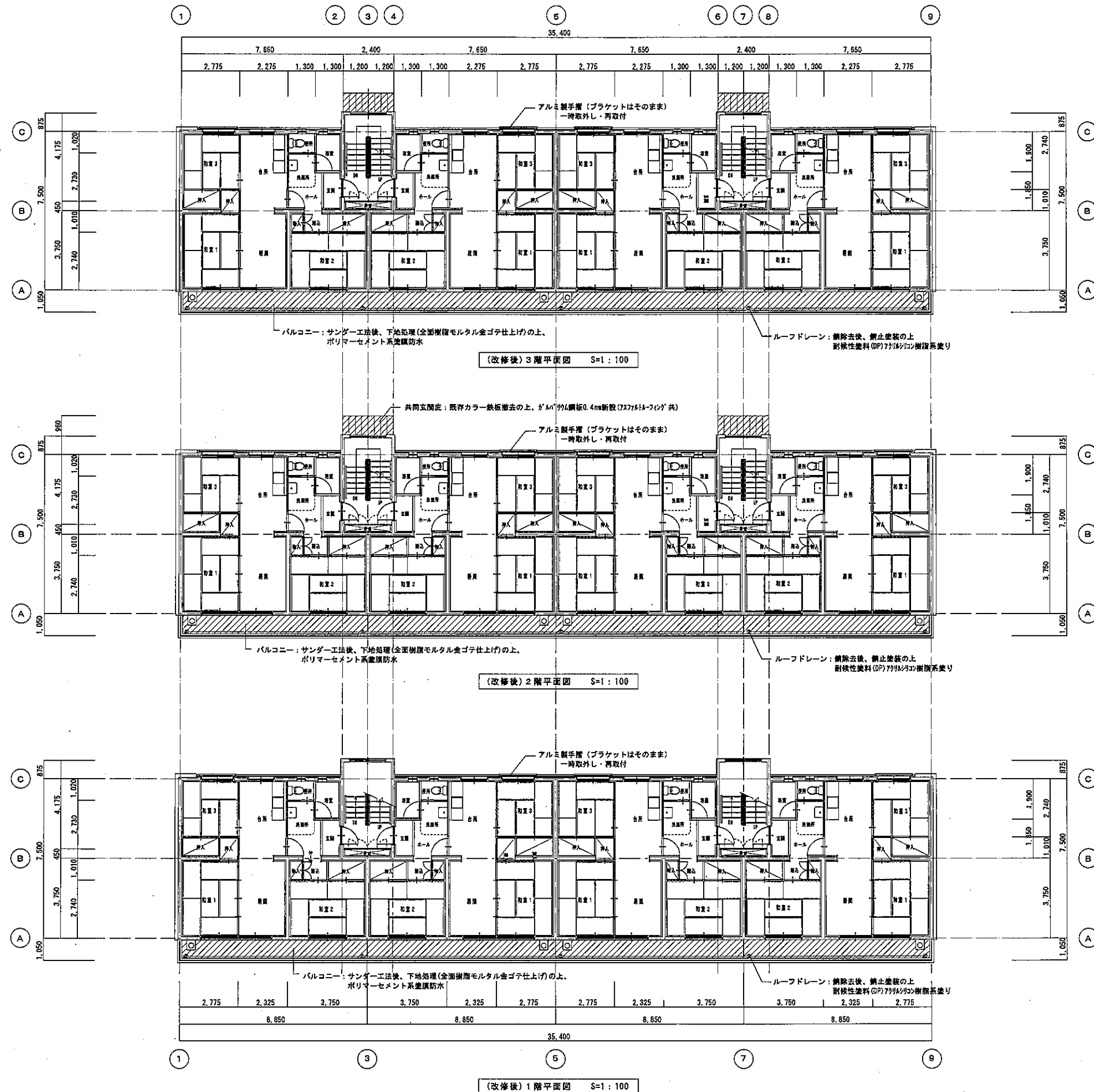


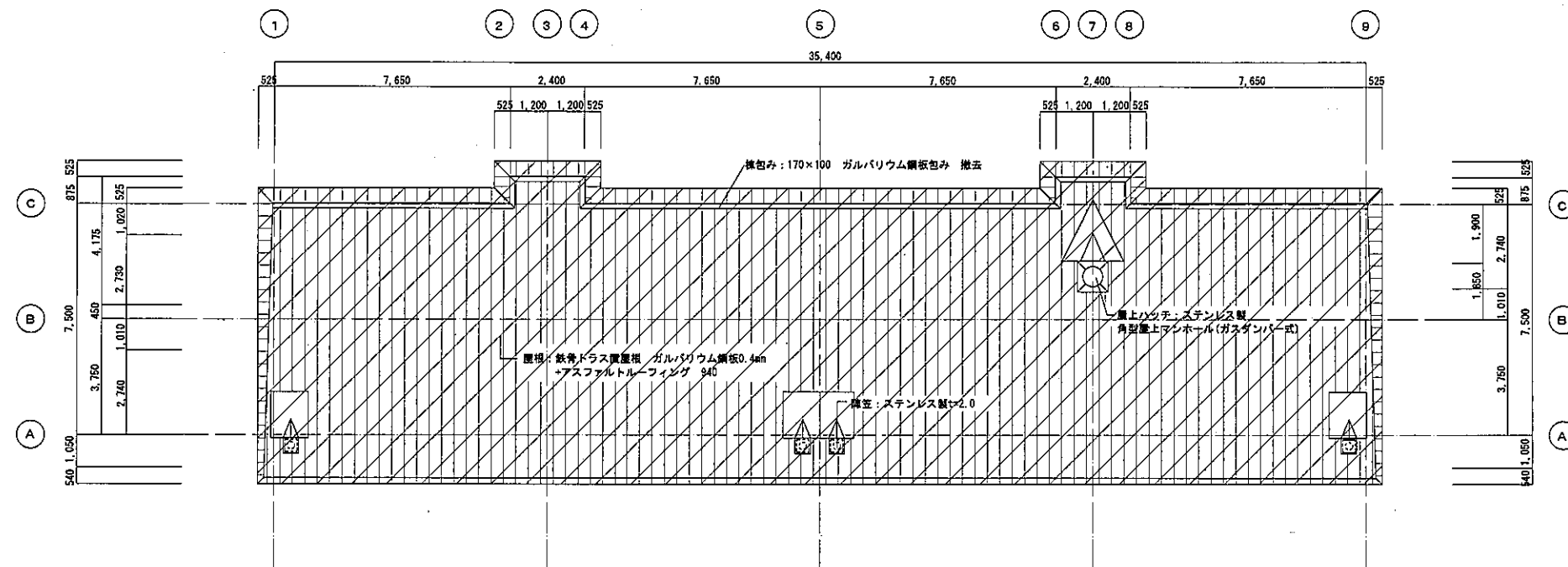
案 内 図



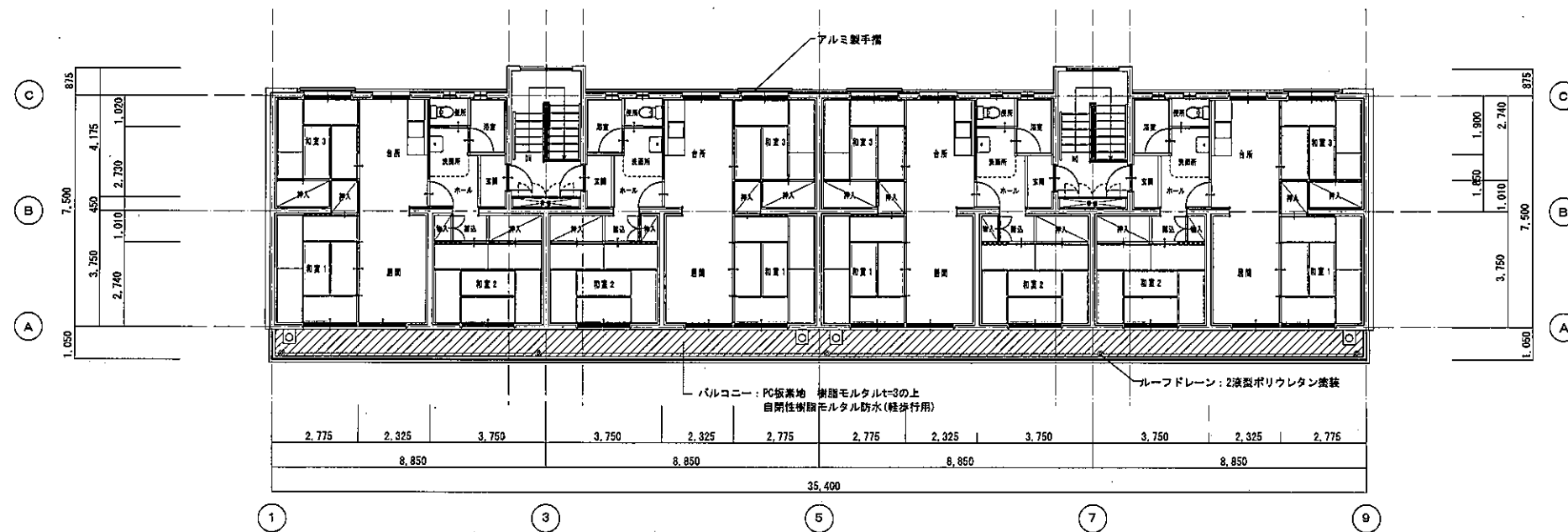
配 置 図 S=1:600





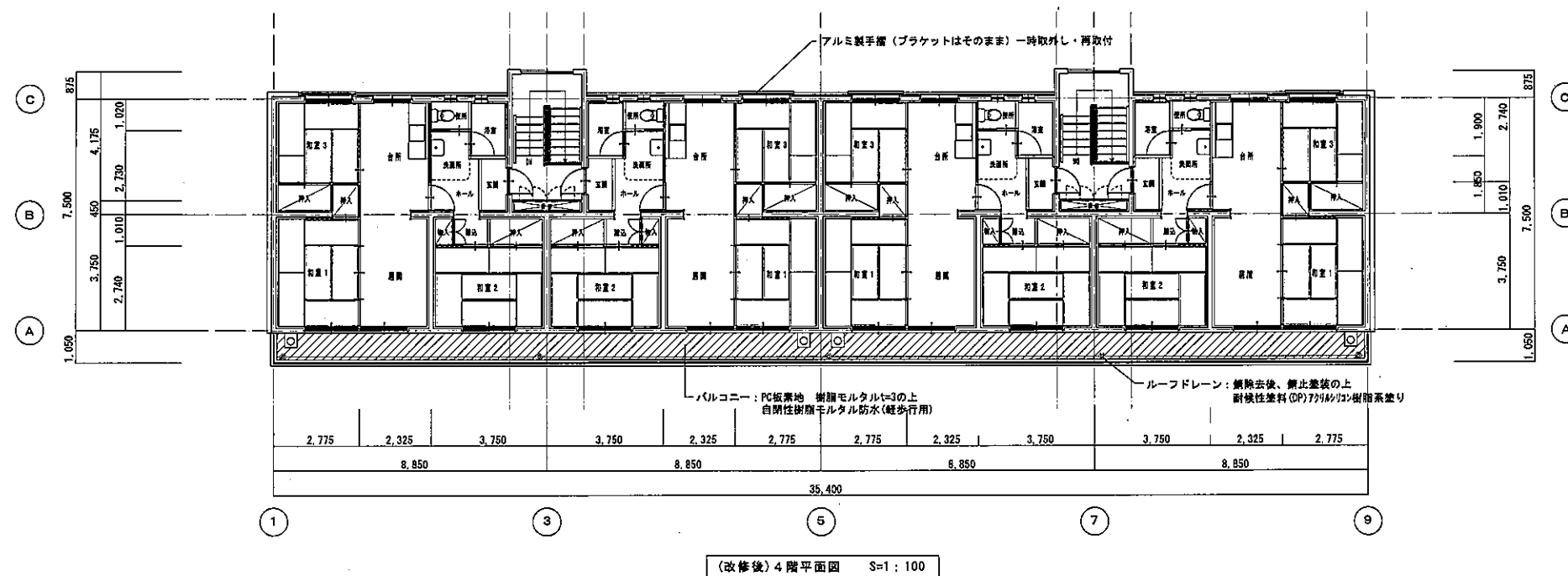
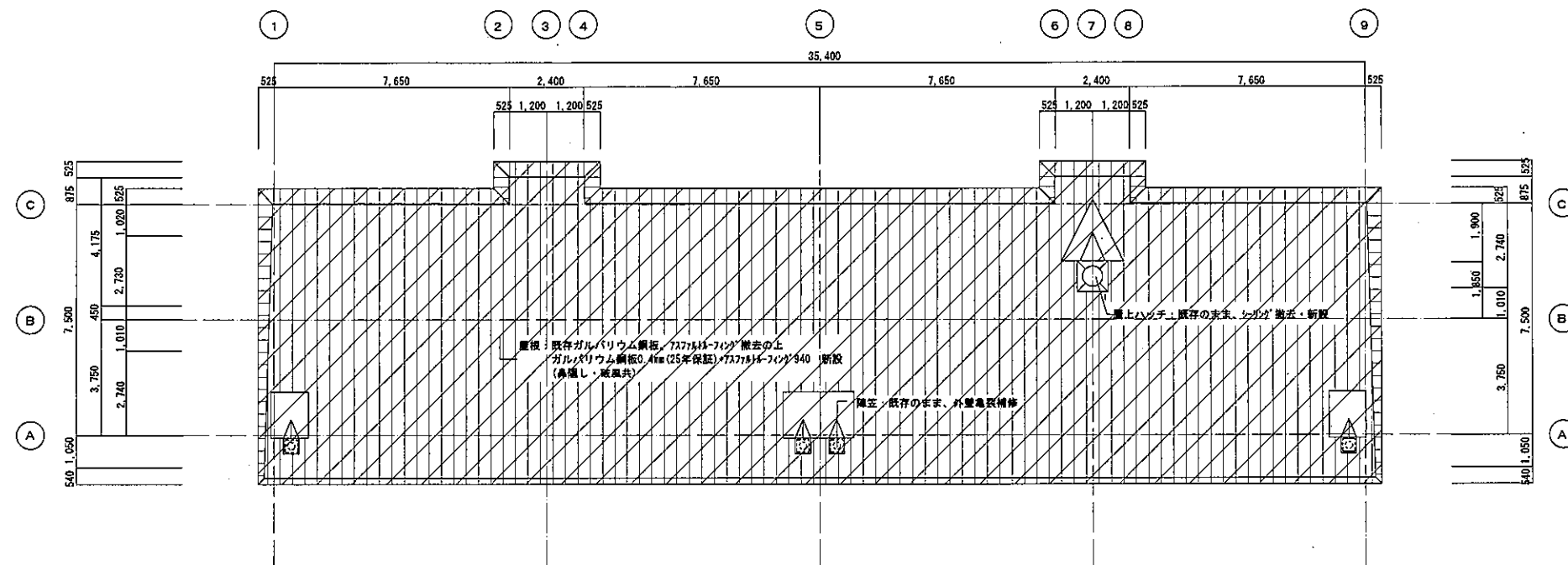


(改修前) 屋根伏図 S=1:100

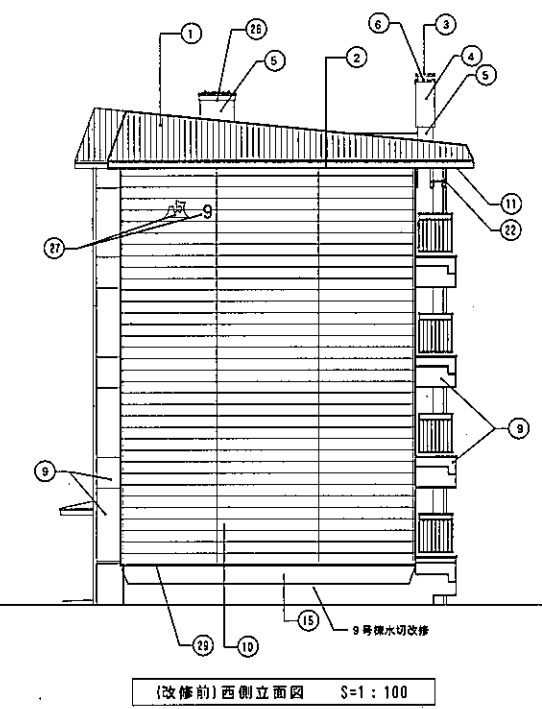
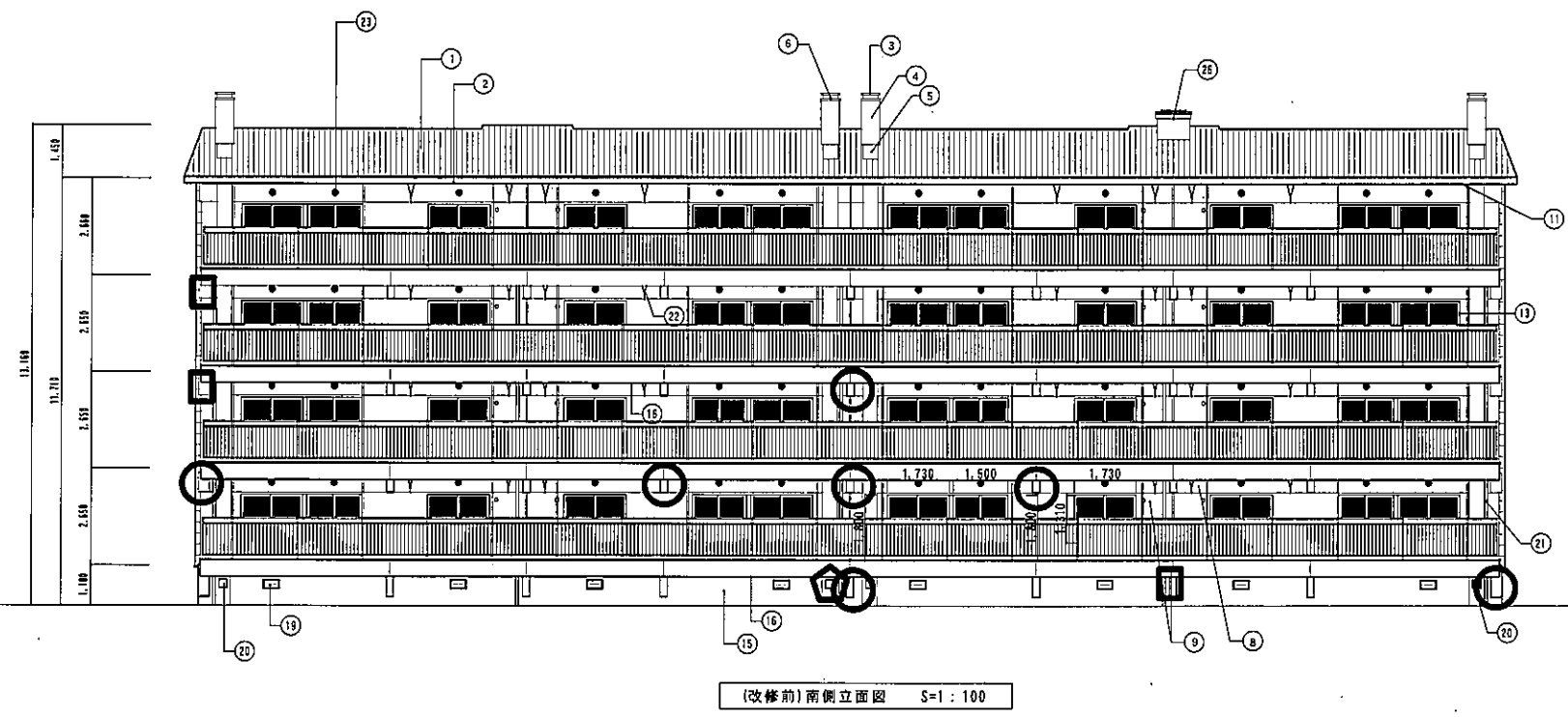
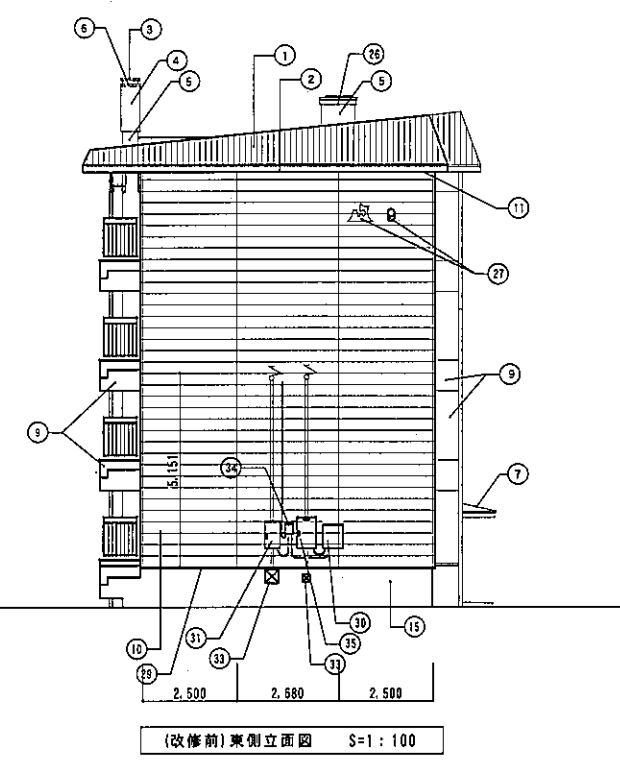
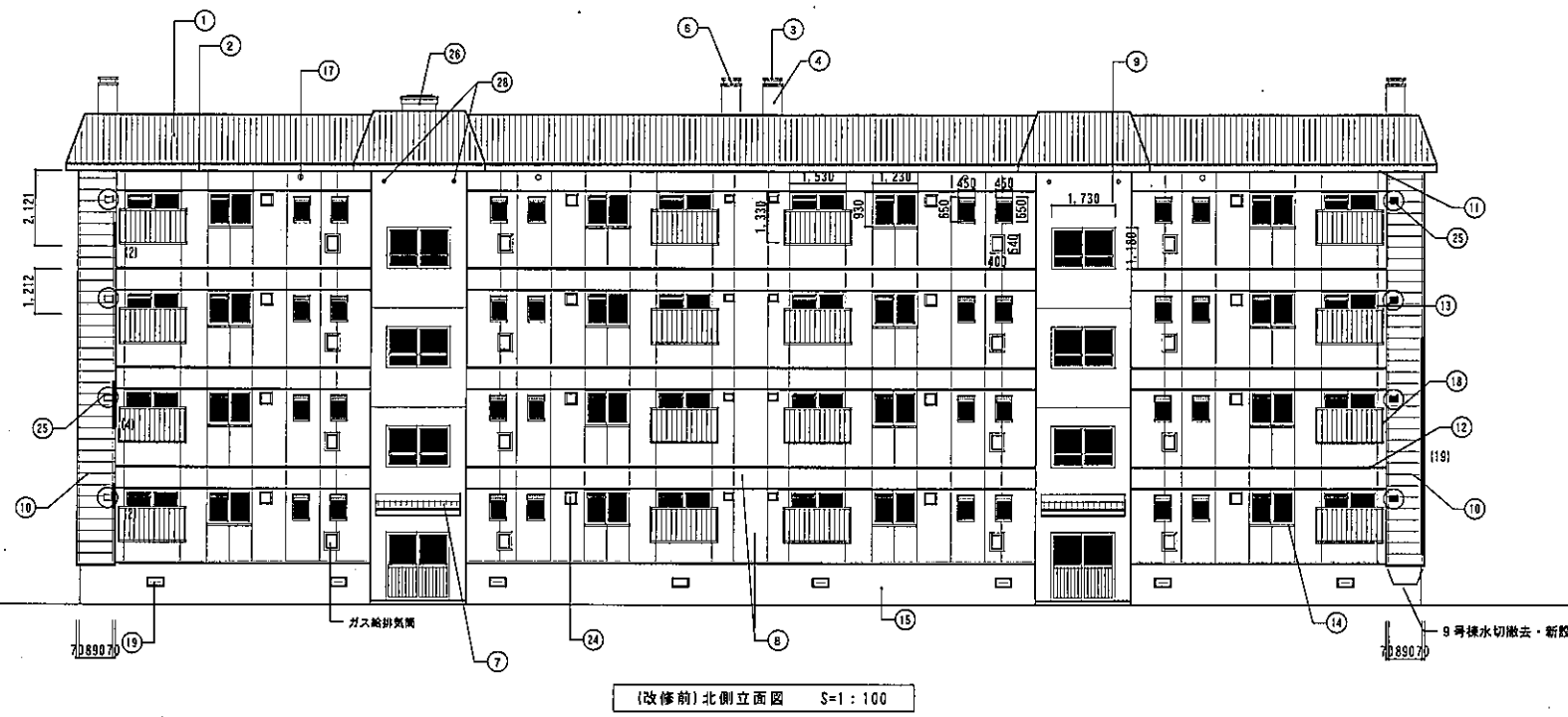


(改修前) 4階平面図 S=1:100

※小屋裏換気口
1世帯当たり 4ヶ所

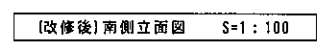
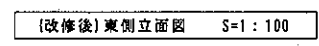
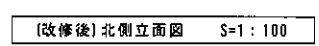


※小風囊換気口
1世帯当たり 4ヶ所





- 凡例
- : コンクリート欠損部(鉄筋露出部)
 - : クラック箇所
 - ◇ : 煙突灰出口 錆・劣化部
 - : 換気フード
 - (2) : コーナー材 割れ・劣化部 (50×50, 50×140)


【改修前】立面図凡例					
①	屋根: ガルバリウム鋼板0.4mm t アスファルトルーフィング940	⑪	軒裏: 防水形外装薄塗材 E 吹付	⑳	物干金物: アルミ製
②	鼻隠し・破風: ガルバリウム鋼板0.4mm 包み	⑫	窓型上端: 水切 ステンレス製 t=2.0鋼工. 水切下: 現場発泡ウレタン	㉑	既存ガラリ: ステンレス製150φ、100φ
③	障子: ステンレス製 t=2.0	⑬	サッシ廻り: 合成シリコン	㉒	換気フード: 樹脂製
④	煙突: 防水形外装薄塗材 E 吹付	⑭	水切: ステンレス製 t=2.0	㉓	和室換気フード: 樹脂製
⑤	煙突・屋上ハッチ立上り: ガルバリウム鋼板0.4mm	⑮	換障り: 合成型枠コンクリート打放し補修の上、防水形外装薄塗材 E 吹付	㉔	屋上ハッチ: ステンレス製角型マンホール(ガスダンパー式)
⑥	煙突天端: モルタル刷毛引 t=2.5の上 防水形外装薄塗材 E 吹付	⑯	バルコニー下スラブ: 防水形外装薄塗材 E 吹付	㉕	換気マーク・換気番号: トップコート吹付 750×750
⑦	共同玄関窓: 長尺カラー鉄板25#補修材+アスファルトルーフィング22kg (鼻隠し・破風共)	㉀	防臭通気ベントキャップ: ステンレス100φ	㉖	丸形換気口: ステンレス製100φ
⑧	外壁・広型: 外断熱パネル(耐アルカリ鋼網補修強化セメント板 t=9+押出ポリスチレンフォーム保溫板 (3種b t=40mm) 防水形外装薄塗材 E 吹付 目地: 合成シリコン	㉁	窓手摺: アルミ製	㉗	アルミ製水切り
⑨	外壁(既存P C面): 防水形外装薄塗材 E 吹付 目地: 合成シリコン	㉂	床下換気口: H215×W420(外側寸法)	㉘	電話用保安装置
⑩	外壁(既存セメント中空押出成形板 t=20W=303): 防水形外装薄塗材 E 吹付 (透湿性)	㉃	煙突灰出口: スチール製 O P 塗装	㉙	引込開閉装置
		㉄	笠樋: 硬質強化ビニール製 (V P I 75φ)	㉚	外灯壁




凡 例

 : コンクリート欠損部 (鉄筋露出部)

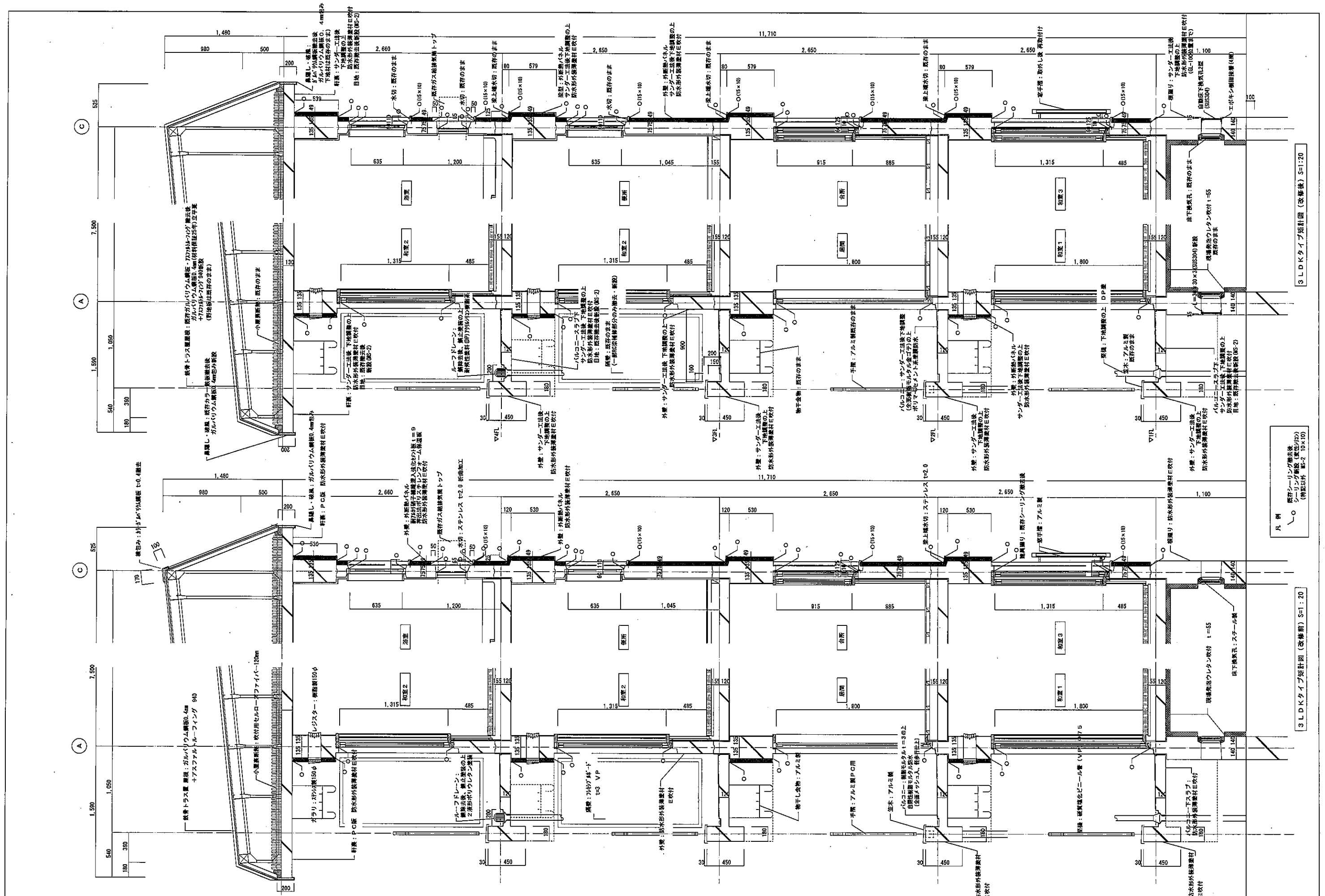
 : クラック補修部

 : 煙突灰出口 撤去・新設

 : 換気フード 撤去・新設

(2) : コーナー材 撤去・新設
(50×50、50×140)

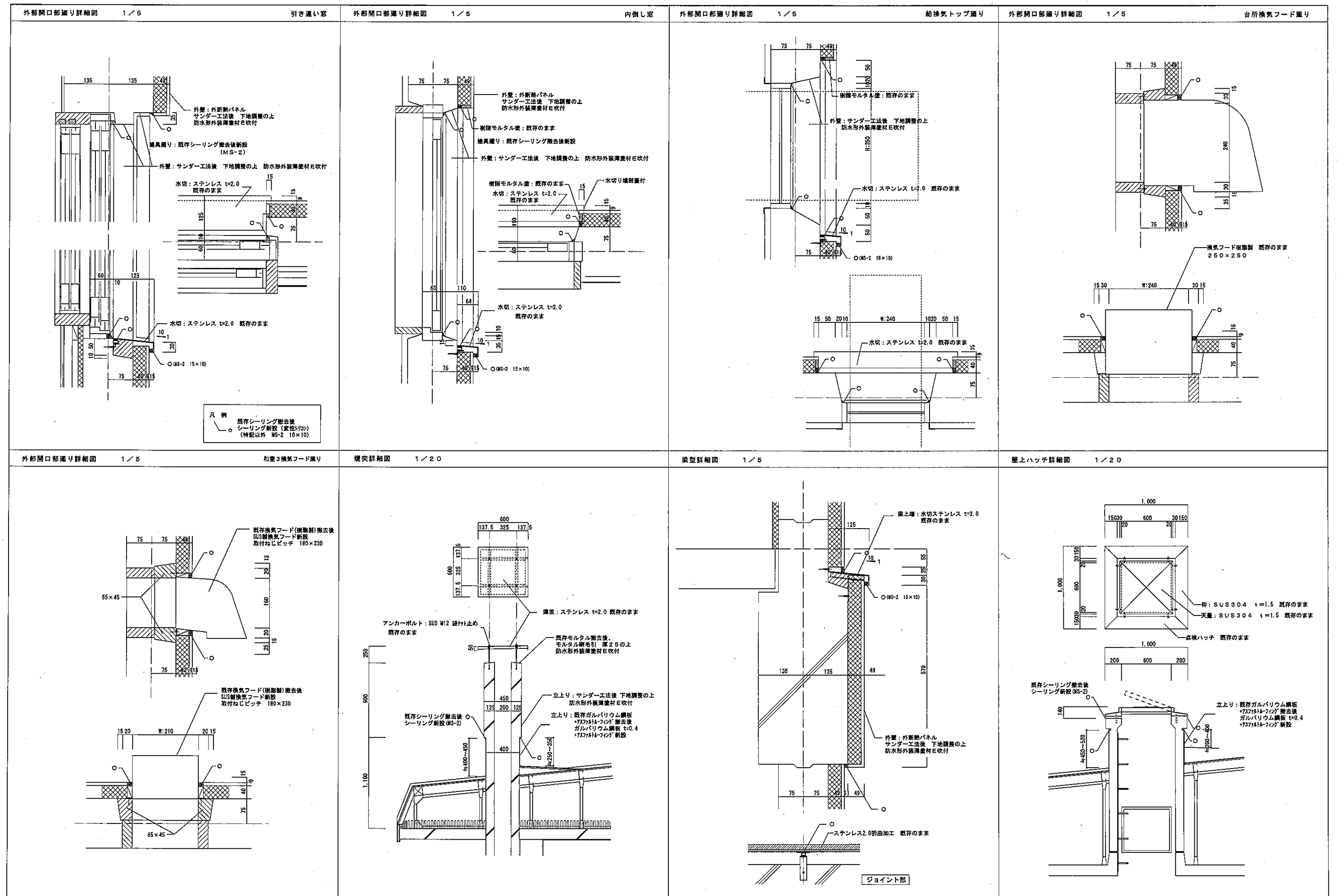
※ 外壁目地シーリング撤去・新設

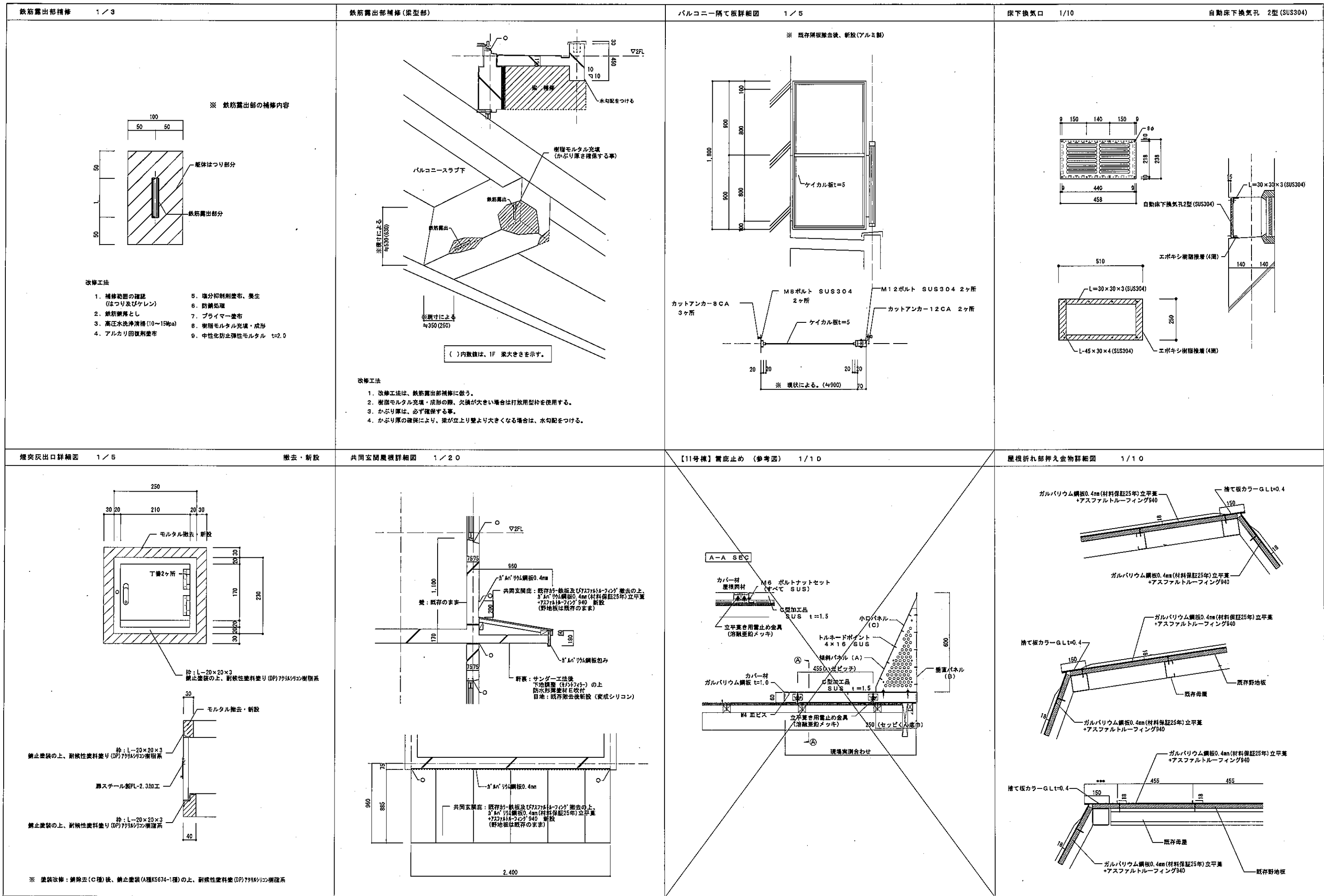


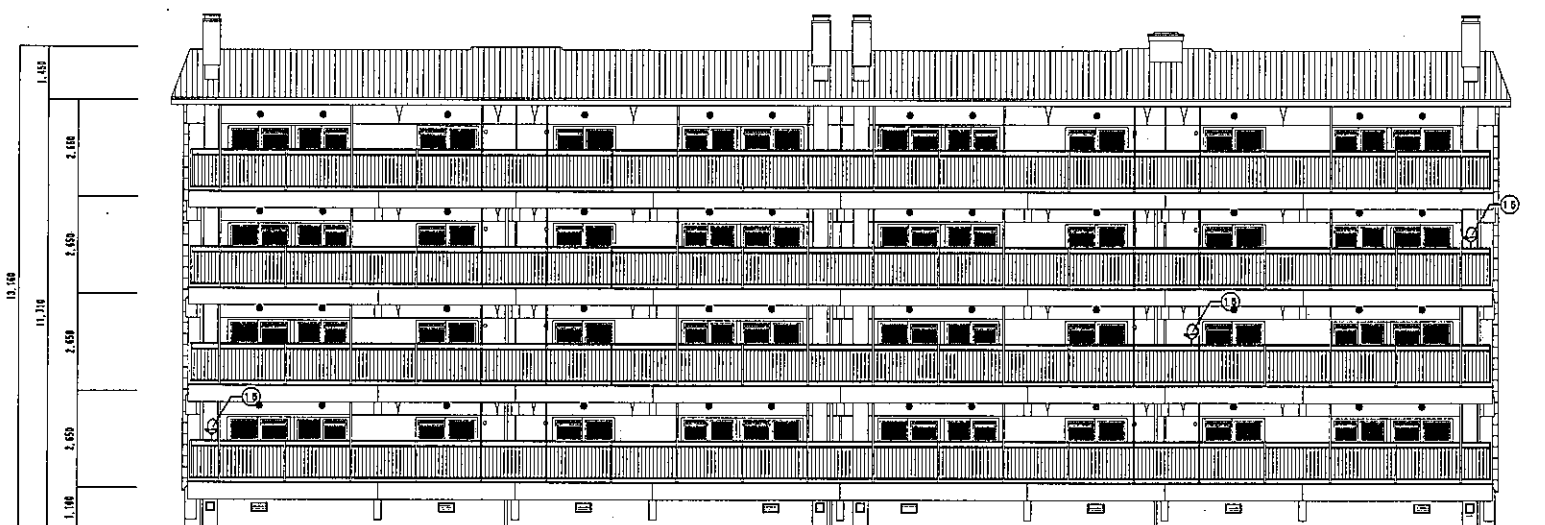
3LDKタイプ短計図 (改修後) S=1:20

3LDKタイプ短計図 (改修前) S=1:20

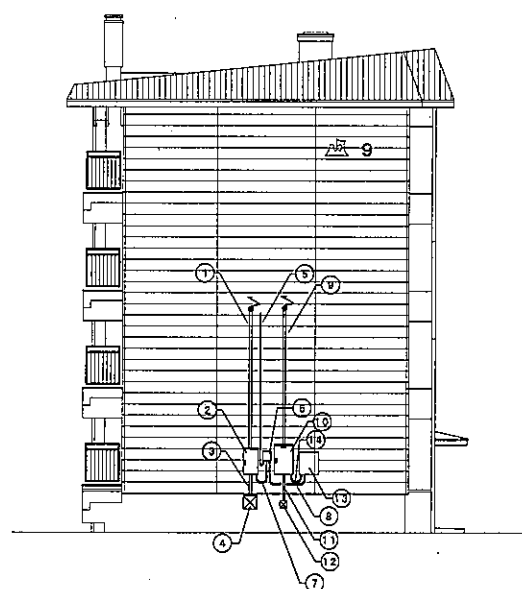
凡例
○ 既存シーリング跡
○ シーリング跡 (改修前)
(特記以外 RS-2 10×10)





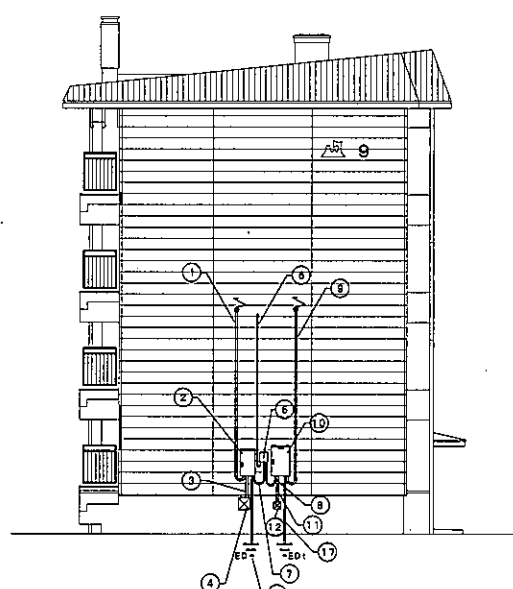


南側立面図 S=1:100



2,500 2,680 2,500

(改修前) 東側立面図 S=1:100



2,500 2,680 2,500

(改修後) 東側立面図 S=1:100

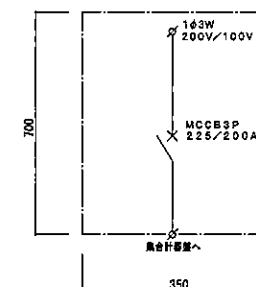
電気設備工事特記仕様書

工事仕様

共通事項

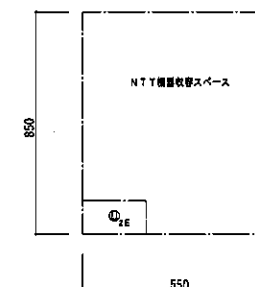
資材調達書、現場図等、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁告示第14号「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編・平成28年版)」(以下「標準仕様書」という。)、
「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編・平成28年版)」(以下「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編・平成28年版)」(以下「標準仕様書」という。))による。

- 1) 屋外に設置する機器付属品(ボルトナット類及び外装等)への取付用配管支持金具は溶融亜鉛メッキ製またはステンレス製とする。



改修後 引込開閉器 - 1 単線結線図

屋外型 (鋼板 WP)



改修後 端子盤 - 1 単線結線図

屋外型 (鋼板 WP)

(奥行 200mm)

作業凡例

①	CV 100sq-3C (E75) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去) EM-CE 100sq-3C (HIVE82) 本設時新設 (配管経路箇所は電動機保護継付 8mm 防水ビニル被覆にて保護)
②	引込開閉器 (ナイススイッチ200A収納) 350W×700H×180D 取外し再取付 (仮設1回 本設時撤去) 本設時新設 引込開閉器-1 (内部ナイススイッチは、MCCB3P225/200Aに変更)
③	CV100sq-3C (E75) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去) 仮設足場から建て置きまでの仮設電動機保護継付 EM-CE100sq-3C (HIVE82) 3.0m 本設時には、延長配管を用い取付を行う。
④	プルボックス SS-C 350W×350H×200D 撤去 プルボックス SUS-WP 350W×350H×200D 本設時新設
⑤	1V 2.0×2 (VE16) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去) EM-IE 2.0×2 (HIVE16) 本設時新設 (配管経路箇所は電動機保護継付 17mm 防水ビニル被覆にて保護)
⑥	開閉器ボックス (開閉器MCCB2P20A収納) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去新設)
⑦	1V 2.0×1 (PF16) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去) EM-IE 2.0×1 (HIVE16) 本設時新設 (配管経路箇所は電動機保護継付 17mm 防水ビニル被覆にて保護)
⑧	1V 2.0×2 (PF28) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去) EM-IE 2.0×2 (HIVE16) 本設時新設 (配管経路箇所は電動機保護継付 17mm 防水ビニル被覆にて保護)
⑨	NTT電話ケーブル (G42) 取外し再取付 ケーブルは別途工事 (仮設1回、本設時撤去) NTT電話ケーブル (HIVE42) 本設時新設 (配管経路箇所は電動機保護継付 38mm 防水ビニル被覆にて保護)
⑩	端子盤 端子盤-1 550W×850H×150D 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去新設) 550W×850H×200D (NTT機器収納スペース、露出コンセント2P15A×1)
⑪	NTT電話ケーブル (G42) 取外し再取付 (仮設1回、本設時撤去) ケーブルは別途工事 仮設足場から建て置きまでの仮設電動機保護継付 (HIVE42) 3.0m 本設時には、延長配管を用い取付を行う。
⑫	プルボックス SS-C 150W×200H×150D 撤去 プルボックス SUS-WP 150W×200H×150D 本設時新設
⑬	NTT集合保安設備 別途工事 (本設時端子盤内に機器収納)
⑭	NTT電話ケーブル (PF28) 取外し再取付 ケーブルは別途工事 (仮設1回、本設時撤去)
⑮	パラボラアンテナ 450φ 取外し再取付 (仮設1回 本設1回) (3ヶ所)
⑯	本設時新設 EM-IE 14sq×1 (HIVE22) 接地工事 ED種(埋設埋込)
⑰	本設時新設 EM-IE 2.0×1 (HIVE16) ED4種 (埋設埋込) 本設時新設

注記 : 工事着手時外機関係業者 (東北電力、NTT、ケーブルテレビ) と連絡をとり、工事に支障のないように工事を行う。